

富士市立高等学校 学校運営協議会		第18回	会議要旨 (平成30年度)
開催日 平成31年2月6日 水曜日 開 会 18時30分 閉 会 20時50分	会議場 富士市立高等学校 2階 P I Rルーム		
出席委員 【委員】 畑 隆 櫻井 正人 塩田 真吾 鈴木 愛美 畑 裕美 矢崎 進 山田 雅彦 岩田 享 味岡 俊雄 池田 将章 【オブザーバー】 安倍 徹 望月ゆかり 齊藤 隆裕			
開会			
○会長あいさつ ・学校評価は、PDCAサイクル、プラン・アンド・チェックサイクルの中で、今はチェックの段階、この年度の最後に1年間を振り返ってみて、それを点検するということであり、これは単にその年度を振り返ることだけではなく、その後のアクションに繋げる、いわばそのものの発展に繋げる振り返りをしていくことである。 ・学校評価は、今後の富士市立高校の発展にとって一つの重要な取組なので、各委員から忌憚のない意見をいただきたい。			
○副会長あいさつ ・生徒、保護者等へのアンケート結果、諸々のデータを参照しながら、本年度の学校経営計画に対する本校の自己評価について委員から忌憚のない意見をいただき、会長から話のあったPDCAサイクルで次年度の学校経営計画に活かしていきたい。 ・現在学校では、3年生は本日の学年末テストで事実上終了し、明日から家庭学習となり、3月1日の卒業式に向けて淡々と進んでいく。ただし、国公立大学を希望する生徒については、これから2次試験ということで、3年部の先生には、生徒のためもう一頑張りしてもらいたいと思う。 ・1月25日の金曜日に静岡県こどもの国から本校までの約22キロメートルを走る「健脚大会」というイベントがあり、ほとんどの生徒がこの健脚大会に参加した。3年生については希望によるオープン参加だが、1・2年生を中心として多くの生徒が走りきった。PTA、後援会から豚汁、バナナ、おにぎりなどが提供され、充実感、達成感を味わいながら、事故もなく無事終了した。 ・現在富士市立高校でのインフルエンザの罹患数を確認したところ、本校ではここ数日、罹患者0人であった。聞くところによれば、富士宮の公立高校では学年閉鎖、インフルエンザによりマラソン大会も2校が中止となっている。本校は、こうしたことを考えるといい流れで年度末を迎えている。			

議事の概要

○学校からの報告

◇進路決定状況

- ・1月31日現在で国公立大学には6人合格している。昨年度と同数である。
- ・私立大学は、延べ70人が合格し、昨年度と同数である。
- ・短期大学は延べ18人で、昨年度比－7人である。
- ・専門学校は延べ60人で、昨年度比－7人である。
- ・就職は37人が内定を得ており、昨年度比＋1人である。
- ・公務員は4人の合格で、昨年度比較－2人となっている。

◇海外探究研修について

[総合探究科]

- ・毎年、アメリカのボストンに行き、そこで大学訪問、高校訪問及び班別研修の3つの活動を主な柱として行っている。
- ・大学訪問では、現地でハーバード大学のキャンパス訪問を現地の学生にしてもらったり、先方からテーマをもらってミッションをクリアーしていったり、本校で少し準備をして、近い将来どのような職業が必要であるとか、ボストンでプレゼンテーションをしていくというような活動を行ってきた。
- ・高校訪問では、ここ3年同じ高校に行き、双方ともかなり信頼関係ができていの中で、先方もかなりウエルカムという状態で高校に受け入れてもらっている。3か月前に個人同士で生徒がメールでやり取りしながら、いわゆるバディプログラムといって、1対1の関係で授業に参加させてもらったりということで、午前中、それから昼食をとって解散となるが、濃密な時間を過ごすことができた。
- ・班別研修は、昼過ぎから夜の時間まで各班で活動してきて、いろんな箇所を自分たちで見ると、それからショッピングも含めてボストンの市街を生徒たちだけで活動してくるというような活動をしてきた。
- ・海外探究研修の費用は、全体で1人当たり235,150円である。今回は燃油サーチャージが2万8,000円だったが、平成31年2月からは3万5,000円になるので、対応を検討する必要がある。
- ・反省としては、アメリカでの活動時間は正味3日間しかないが、その割には移動の時間がかかり長いこと、日本との時差が大きく、生徒も時差ボケによる疲労が大きいこと、燃油サーチャージがかなり上昇しているの、予算も限られているので、研修の内容、研修地等、現在再検討していきたい。
- ・海外探究研修についての生徒へのアンケートにより満足度を計ったところ、どのクラスもほぼ95%以上は満足しているという結果となっている。

[ビジネス探究科]

- ・ビジネス探究科は、企業研修、学校交流及び班別研修という3つの柱で、海外探究研修を実施した。
- ・企業研修については、日系の優良企業である台湾森永製菓とTVBSという現地の1、2を争うケーブルテレビで研修を行った。台湾森永製菓は、いち早く台湾に進出した企業で、現地会社の社長も日本人の方であり、台湾のお菓子文化の課題等について講話を受けた。

- ・学校交流については、私立の泰北高級中学と7年間交流を進めてきている。約12時間現地の高校生と一緒に活動した。2時間ほど授業体験をし、その後文化交流。そして最後に6時間から7時間ぐらい現地の台湾の高校生と一緒に市内研修という形で、夕食も一緒に食べながら、海外の高校生と比較して、自分たち日本の高校生は何が足りないのか、共通点は何かということのを思考しながら研修を進めた。
- ・班別研修については、生徒の自主性を重んじ、様々な失敗を繰り返しながら、いろいろな体験をしながら実施してきた。
- ・費用は全体で1人当たり143,341円であった。
- ・海外探究研修についての生徒へのアンケートにより満足度を計ったところ、生徒の満足度は93.6%であった。

〔スポーツ探究科〕

- ・スポーツ探究科の研修地は、一昨年度まで研修地はドイツ・オランダだったが、昨年度からオーストラリアに変更になり、今年度で2年目である。
- ・移動時間は8時間程度あるが、時差は1時間のみである。研修期間中オーストラリアは夏で、温暖のため非常に過ごしやすい環境の中で研修を行ってきた。
- ・スポーツ探究科の海外探究研修は、①日ごろ日本では味わえないようなスポーツ活動を経験するということ。②スポーツ交流を通して現地の子どもたちと様々なコミュニケーションを図ること。③これらの活動や交流の中で、生徒たち自身がオーストラリアのスポーツ文化に触れる中で、これからの自分たちの活動を考えてもらうこと。の3つを研修の柱とした。
- ・研修の課題として、研修を実施した12月という時期はオーストラリアは夏休みの期間（12月～1月）となっていて、現地の授業に入っていけないので、オーストラリアが研修地として最適なのかという点も含めて今後検討していく必要がある。
- ・海外探究研修についての生徒へのアンケートにより満足度を計ったところ、グリフィス大学での講義を除き、概ね高い満足であった。

◇部活動の主な実績について

- ・今回の部活動の実績に関する資料は、前回第17回の学校運営協議会の資料では、平成30年10月末までの成績を掲載したので、その資料に追加分を加えた形になっている。
- ・現在部活動は、1、2年生で活動を行っていて、各競技で新人戦、選手権大会が行われ、多くの部が県大会に進出した。
- ・柔道部の女子個人52kg級、57kg級いずれも3位ということで、東海大会へは進出できなかったが、優れた成績を収めた。
- ・サッカー部が来年度東海プリンスリーグに参入が決定している。また、チアリーダー部がUSAリージョナルズという大会で全国大会出場となった。全国大会は、平成31年3月25日に千葉県幕張で行われる。

○学校評価について

◇生徒、保護者、教職員アンケートの結果について

◇学校自己評価について

(資料をもとに、アンケート結果及び評価について説明)

学校からの報告について意見交換

(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合探究科の海外探究研修地は、アメリカ・ボストンで続いている見直しがあってもいいと思うが、生徒の立場から考えると毎年ボストンに行けるという期待があると思うが、そうした期待はどのくらいあると考えるか？また、もし期待があるとしたら、例えば翌年から研修地をオーストラリアにするなどということが実際できると考えているのか伺いたい。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校では、本校の総合探究科の海外探究研修がボストンであるということがかなり浸透している様子で、生徒の中に自分はボストンに行きたいので富士市立高校を選んだという生徒がいる。このような期待については考慮しなければならないと考えている。 ・ ボストンという町は、町の中を電車で移動できて、治安もよいので、研修候補地の検討に際しては、ボストンという町も残したまま検討したい。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外探究研修について、例えばアメリカに行って帰ってきた後、生徒が英語を勉強する意欲が高まったとか、何か教育効果的な面でエピソードがあったら紹介してほしい。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に昨年度、一昨年度アメリカの大学に直接行っている生徒もいるので、スイッチが入る生徒は少数かも知れないが、そうした生徒は確実にいる。 ・ ここ7年間アメリカのボストンでの海外探究研修をやってきたが、最初の1期生、2期生の時は、実際にセンター試験のリスニングの点数が上がったという実績がある。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校経営計画の作成の際、個別項目の目標を立てるとき、どのような条件を前提として目標を立てるかということが非常に難しく、目標値を達成すると次年度は更に目標値を引き上げることになるが、こうした形で数年目標値の引上げが続くと、「もっとできるのではないか？」ということで目標値が際限なく引き上げられてしまうという問題がある。富士市立高校が決めた目標値の数値の妥当性については、もう少し吟味する必要があると思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者へのアンケートの中で、例えば「本校の学習指導により学力は向上しているか」、「本校の学習指導は、適切に行われているか」という質問は、保護者に聞いても、保護者としてはどう答えていいのか分からないとも思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サテライト学習は、アンケート結果を見ると生徒の満足度が極めて低い。この結果では、教員サイドからサテライト学習そのものの必要性について議論になっているのではないか？サテライト学習は、学力の向上に結びついていないような気がする。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年の該当教科の教職員に実際にサテライト学習で使用する動画を見てもらい感想を尋ねたところ、この学習動画だからダメだと、これでは効果は上がらないというような意見はなかった。しかし、生徒の学

<p>(質問・意見等)</p>	<p>習に対する姿勢の涵養について、今指摘があったようにサテライト学習そのものの見直しについて意見があった。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サテライト学習については、昨年度との比較の中においても満足度が低下したということのほか、そもそも全体的な満足水準が低い。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「週3日以上午後8時以降に残留する職員0人」という項目について、教職員はとても忙しい。この目標についての評価を上げるため、学校として何か方策を考えているか？
<p>(回答)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、仕事を標準化していくということが重要だが、部活動ガイドラインを含めて、働き方改革について通知されているが、これらの見直しに合わせて働き方を改めていく必要がある。改正法により時間外勤務は月45時間以内等となっているので、この基準内に収めるよう啓発活動を行っていく。管理職でも、例えば朝の教職員の打合せの中で月曜日は定時退庁推奨日である等、呼びかけを行っている。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員へのアンケート結果の集計で評価として最も低い「1」の評価をつけた方職員がいるが、「1」の評価がついていることに対して、どのように判断しているのか？
<p>(回答)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に最も評価の低い「1」がついているのは、「学級日誌を学校経営に活用している」及び「教育者としてふさわしい身だしなみを心がけている」という項目である。学級日誌については、各クラスの様々な連絡事項について当番が記載し、それを担任の教職員がチェックするものであるが、そうしたことをあまり意識してやっていないというような捉え方をしている教職員がいるということになる。 <p>また、身だしなみについても、管理職が年2回の教職員との面談時、またそれ以外でも適宜言及することがある。管理職としては、そうした取組で対応していきたいと考えている。</p>
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の自己評価は、全体として厳しい評価をしているという印象がある。こうした厳しい評価は、今年度の悪い点を把握してこれから改善していこうという思いが滲み出ている評価だと思う。こうした厳しい評価は、今後に向けての1スペックとしての位置付けの意味があると感じ、この評価を出発点として、うまくいかなかった部分について少しずつその改善に取り組んでほしい。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外探究研修の検証と充実について、今後海外探究研修の検証をする場合には、保護者の満足度についても調査した方がよいと思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの質問のうち「学校で勉強した内容をもっと知りたいと思う」という質問については、「これをきっかけにもっと知りたいことが増えた」というように質問すれば、もっとよい結果になると思う。生徒は、学校を飛び出していろいろ調べて知りたいことが増えている印象があるので、アンケートの質問の仕方をもう少し変えた方がよいと思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合探究科の海外探究研修で、ハーバード大学での研修でプレゼンテーションを行ったとあるが、ハーバード大学の方々からどのような感

	<p>想やアドバイスがあったのか？また、それに対して生徒は何か改良を行えたのか？総合探究科の海外探究研修での説明の中ではメールでやり取りをしていたという話があったが、メールのやり取りは英語で行えたのか？</p>
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修でアメリカでの訪問校が決まって、市立高校の生徒と趣味が同じであるとか、部活動が同じあるか、やっているスポーツが同じかなどでマッチングをさせてもらい、お互いにeメールのアドレスを交換して、英語でやり取りを行った。アメリカの生徒の中には日本語研究会の所属のような生徒もいたので、そうした生徒は日本語でチャレンジしてくることもあったようだが、基本的には全て英語でやり取りをしている。
	<p>プレゼンテーションの質問については、今年度は、将来的にどのような職業が成り立ってくるのかということ、本校内で検討して、こういう職業が将来出てくるだろう、こういう職業はどうか、ということ、ハーバード大学のキャンパスに在籍する学生に本校2年生の2つの班がプレゼンテーションをして、そのプレゼンテーションを聞いた学生に、プレゼンテーションを行った2つのうちどちらが優れていたかについて、優れていたと思った方にステッカーを貼ってもらい、それを集計して、多くの得票を得た方に後で発表してもらおうというものである。最終日に全体の120人の生徒の前で、一番上位の班に発表してもらった。</p>
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の安全運転についてで、自分の居宅は富士市立高校の近隣にあるが、正門から南に下って、根方街道につながる道があり、その道路を自分も一緒に南に下っていくときがある。自転車に乗車している生徒は、根方街道と交差する地点で必ず自転車を静止させてしっかりと安全確認をしている。教職員も必要なポイントに立って指導しているので、非常によくできていると思うので、少し評価を上げてもいいのではないかと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に学校の自己評価は、少し厳し目につけている。交通事故の件数の増加についても、B評価としてもよいかも知れないが、次回改善という意味を含めれば現状の評価のままでもよいと思う。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の評価結果は、翌年度の目標に繋がっていくので、D評価となった項目に関しては、翌年度の学校経営計画を立てる際、その改善方法とセットとすべきと考える。そうすれば、翌年度に評価がしやすくなり、また分かりやすくなると思う。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ PDCAサイクルということで、D評価となった項目については、指摘のとおり対応していく。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各アンケート結果の集計で、回答結果の分布を示してもらい大変ありがたい。同じ平均点でも1と4が多い場合と、その反対に1と4が少ない場合とでは、大部状況判断が違ってくる。
(質問・意見等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業改善で、模擬試験やサテライト学習に関連して、授業改善、教科

<p>(質問・意見等)</p>	<p>指導、学習指導をどのようになっていったらいいかという点についてはこれからの課題と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士市立高校では「探究」という言葉をキーワードにしているが、なかなか学校での学習内容をもっと詳しくということに結びついていないと思われるところがある。アンケートの設問の仕方についても、もう少し工夫をした方がよい気がするが、子どもたちが独り立ちして勉強していくにはどうしたらいいか、という視点をもっと強調する必要があると思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革と部活動という問題はどこの学校でもこれから大きな課題になってくる。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・要望だが、生徒指導、生活指導の面で、どこの高校でも問題になっていると思うが、スマートフォンの問題だとか、教育相談の相談内容としてどのようなものが学校に寄せられているか、あるいは進路変更した生徒がどういう状況で、どんな経歴なのかということを生徒指導・生活指導の面から情報提供してもらおうと学校像がより分かると思う。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者へのアンケート結果を見て、その満足度が非常に高く、市立高校の教職員が普段よく努力している賜物だと感じた。 ・学校評価の目標数値の妥当性については、少し頑張ればできるのではないかという目標を立てるのがよいと思う。来年度、数値目標はどの程度のものが妥当なのかについて考えてほしい。
<p>(質問・意見等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富士市教育委員会としては、市立高校についても、学校訪問をしているので、また授業改善等で相談があれば、指導主事を通して対応する。
<p>閉会</p>	